

大豆油製造業 在伯邦人農業者

大豆油工業株式會社は始配當會社に非らざると、之れと同時に再び「ブラジルの農業の記事」を刊行する。
大豆油加工業會社を創立し、國內十ヶ所へ加工厂を建てるなど云ふ
農家から大豆を集め、これを歐洲へ輸出し、其の賣上金を會社の資本に當てるなどと云ふ虫のいゝ話だ、コソナ不況の時節柄ソシナ空漠たる會社の株券より現ナマを要求せの農家は一軒あるまい。
日本人は人が善い事業企劃する事は、日本人と云ふ島の雲草なり、第一聖州農會の各員を御手前同様に考へて居る事、兎に角株式、合名、合資等の事は、聖州農會なる者の組織性質を研究する必要あり、此の農會は聖州知事、伯國大統領其他の官憲等々の選舉なども此會員が以て成立し居る者と聞く、されば此の大豆工業會社の後立ても此の會員によりて企劃賛成せられたる會員が二千名以上もある今度の大豆を買上の賣上金を資本金に蓄現せし者なり、若し二千名の大アゼンデーロが株券を買ふとしたならば、日本農業者より買上げた百俵や二百俵位のコントスの資本金によりて大豆を買上の事があるまいと思ふ。
アゼンデーロが如何に珈琲が下落の爲めコロノの勞銀に差支へるとも、日本人シチユアンテは奇異でもあり、了解に苦しむ。

主要農產物

かかるチヤーを入れる事は決して善い結果はない、望むらくはかかる世界的事業に對してはかかる運営をあらむ事と切に望む。

五〇 ミルで地主

五〇 ミルで地主

開業披露

Pensão Japonez
Costa Aguiar, 422—Campinas

當市養鷄會社 昭
病院へ御用のお土産
は通譯其他御世話を
上ます

日本旅館

1000 1000 1000 1000 1000

セエツリーナの
山下藤太郎商店

申詔に方記

HOTEL JAPONÉZ

PROPRIETARIO H. KOBAYAKAWA

土地賣買

フエー 付賃

アルダ・

EMPREZA DE MELHORAMENTO ALTA PAULISTA

Representante Geral: S. Okazaki

總代理人 岡崎司二

パウリスタ會社
總代理人 岡崎司三

SEGUI & CIA.

Caixa Postal 177 | São Paulo

正確迅速

令般穀物類の取次販賣を初め
ました次の條項御覽の上精々
御引廻しを御願申上ます

令般穀物類の取次販賣を初め
ました次の條項御覽の上精々
御引廻しを御願申上ます

一、コンミツソンは賣價の三%
一、御發送と同時に見本別送の事
一、着荷と共に販賣直ちに決済御報告
を致します
一、サツコ・バジオ及一般セツコス・
モリヤードス其他御取次も致しま
す
但し農產物御送付の方には無手數
にて御取計いたします

瀬木商店

支口市
木液



夏目漱石傑作

「君の家に行かないのか？」
「来るるのは盛んに来るらしいが、別に僕は話しなんかした事がないから知らないね。」
「さうか、たうたう別れたんだつてね。」
『爾あるべきことさ。あの小夜子といふ女を別れたといふんだらう。』
「うむ。」
『いつ頃だい。』
『何でももう早い話しだ、さうだな、一月の上旬だつたかね。』
『井上老、から僕の阿爺のところへ手紙が来たのが……井上老人も匙を投げたらしい。』
『よく二ヶ月でも辛棒したのさ。』
『あの薄っぺらな男をね。』
『そしてあの親娘はどうしたんだらう。』
『近い内京都へかへるつて書き添へてあつたから、事によるど已う東京にはゐないかも知れない。』
『可哀相なことをしたね。葛屋の隣にゐて、こりりんしやんと琴を彈いてゐりやいいに。』
『まさか、いつまでもさうしてゐられなかつたらしいね。』
『それでも態々東京まで来て、小野のやうな男に、處女性を遇られたんだからね、そんなことをやつてゐた方がましだよ。』
『あいつを買ひかぶつた不覺だね。』
『あんな男はよく買ひかぶり見いものだ、何をしてゐるんだらうね。』
『何をしてるんだか、君聞かないのかい。』
『僕の家に來ても、ものも

「おほほほほ。」
「ははははは。」と近宗さんは遠慮に大口をあけて笑ふ。
「何がそんなに可笑しくつて。兄の室へ何かとりに来た糸子が障子の中から白い顔を出してわねた。」
「残意義だとき。」「何がなの？」
「お前がさ、十義にも十義以降にも、尠くとも意義を存してゐやいいが、殆んど意義を成してゐないといふんだどう。」「あら、どうしてでせう。」と呉訝顔をする。
「解らなきやいいよ。」「あら」と笑いながら顔を引いた。
「それちや訂正して妹。」「おほほほは、いやな兄さんだこめた。」「おい。」「おいややないわ。」「それちや訂正して妹。」「おほほほは。」
「當り前だ、兄さんが好きになもなつてみろそれこそ歿道だ。」「はははは。」
「甲野さんも笑ひ出した。「まあ、あんな事ばかりおつしやつて。おほほほほ。」「どうだ、それとも好きにななかし。」「知りませんわ。」「して見ると何だね、僕なんだ安心だね。」と甲野さんが言ふ。
「うむ、大丈夫だとも、同じ字のうちにゐて口も利かない位なりや、到底歿道に陥りつこなさ。」

「おい、ちやない妹、ちよつて
待て！」

「なんですの。」

「なにかうまいものでも持つて
来い。」

「うまいものでなんかあります
わ。」

「そんなことは、兄さん一人の
時、ふことだ。甲野さんとい
お客様さんがゐるんだ。なア、甲
野さん。」

「なんにもいらないよ。」

「糸公は甲野さんはなんにも
らないといつてるが、はい左様
でござりますかつて、そのま
ま引込んでおられるかい……
おい、糸公……畜生ツ。」

「あはははは。」と甲野さんが
と宗近さんも體をゆすぶつて
笑ふ。間もなく糸公が菓子器
を持てて來た。

「何を持つて來た。」

「あら、かまはないで下さい。
どうせ糸公の御馳走だもの。」

と蓋をとつた。

「なんだ最中か。」

「いや、結構だ。早速頂戴し
せう。」

甲野さんは最中を一つとつて
に運ぶ。」

「糸公、序にこれをたのむよ
と九須を持ちあげて見せる。
「はい。只今。」

「いつもそんなに素直だとい
ふ。」

糸公なんだがね。」

「おほほほほ」と糸子は九須
受取つて、直に湯を注いで二
の茶碗についてやる。」

「お湯はお室のお鐵に沸いて

「どういたしまして、申野さん。遠慮してらんだなア甲野さん。
『うふふ』と甲野さんは最中頬張りながら笑ふ。
糸子が少し顔を赧らめて「行つて、二人は最中を食つて、茶を飲み、茶を飲んでは最中食ひした。
胃袋の受難時代ではある。

「第十義」以下の事をやつてゐるんだらうよ。」
「第十義」にも十義以下にも、
しも意義をなしてなりや取り柄もあるが、殆んど殘意義なんだ
らしい。

「**糸子**、どうしたんだ、今日は馬鹿にうれしさやないか。」「わたしが？」
「うむ……ああ、なアるほど、わかつた。」
「知りませんわ。」と糸子は逃げ出さうとする。宗近さんは早

「ますから。」「勝手に注いで飲めといふのよしよし。」「よくもそんなへらへらべれるのね。」「獨りのみにあらずだよ。」「あなたお一人よ。」

胃袋受難時代

五號部樂俱人婦！增激大數部



南大河州漫談(二)

J、「△、そうか、そんなにホテル代が安くて待遇が良ければ俺も行かねばなるまい、ハハ……。」
A、「行って見て悪くないよ、南大河州で僕の見たところは、ほんの一部分でござないから大きな事もへないが、ヨーカラン・アベローナス、ボルト・アレグレ、カシアス、モンテネグロと云ふ具合にマアさつと見て來た瞬間に僕の親戚で僕よりほんの少し前に國からウルクア經由で陸路サンパウロへ歸還した者がある。その話でもサンメ・マリア、カセキ等の牧畜地帯からサンタカラリナ界隈のマレセーロ、ラモス附近の話を聞いて、貝牛馬が多數ゐるさいのみで、大して参考になる資料も落ちてはいなかつたと云ふ話だ。」
J、「米作はどうだ。」

A、「米作がい、大して心配したものや

カ、相當やつて居る、僕等が南大河州

州滞在中隨分厄介になつた根本氏に紹介して貰つて、最先に視察したのがセントロニア・ビニニョと稱ばれてゐる。」

A、「△、その人がい、野間さんの親友で十

年もボルト・アレグレで邦人の爲めに

氣吐いてゐるといふ人は。

A、「それだ、何を言つたつて根本ドット

ケルと云つたら大したものだ。」

當時數ふるだけの在伯同胞も十

年もボルト・アレグレで邦人の爲めに

氣吐いてゐるといふ人は。

A、「それだ、何を言つたつて根本ドット

ケルと云つたら大したものだ。」

當時の吾輩も、今や浮世の辛苦

を相當やつて來た人らしく、今ちや南

大河州政府衛生局の分派部長を數年來

やつてゐるんだからな。」

僕等が御観察した時は十有餘名の技

師などを先きで使つて居たよ、然し

あとの性格はさても温厚な人だから

外人も専ら敬服してゐる様だ、それ

でアーネの話に戻るが、ボルト・アレ

ケルの街でさへ一キロの葡萄は六百レ

ースよりも多く、それがカナナス送

行つたら丸つきりロハ同様二百レース

そこへなんだからな。」

「僕の様にアドリに目のない者には持

つて來いだ子。」

A、「百四十五年前から開けた伊太利人種

民地にも拘はらず、サンバッロを達つて全く伊太利人としての特色堅然としてゐる子、それだからあの地方での葡

萄栽培が盛んになつてゐる。」

「ソルゴ・モードのレスポンテなどで

一本三ミリ近くするのが、あちらでは

てゐる子、それだからあの地方での葡

萄栽培が盛んになつてゐる。」

「ソルゴ・モードのレスポンテなどで

一本三ミリ近くするのが、あちらでは

てゐ

近代日本人の

背

くんぐ伸る

日本近信

十年間に一センチ倭小人種から大軸への過渡期

原因は生活様式の變化

實現する
大東京

市會議員の會合

野球競技を
テレビジョンで内外雜貨食料品
松屋商店珈琲コモサリオ
力ーザ東山

日本人の身長が白色人みなみにぐんく伸びるといふ嬉しい現象、が今度文部省體育研究所の吉田信博士、依りて立證された。國際場裡において在來不利益な立場にあつたわが日本人にとつて全く意を強ぶるに足る結論が與へられた。吉田博士は大正二年以來約二十年間に亘つて研究を續けた結果、イス、ドイツ、デンマーク、オランダ、スエーデン、ノルウェー六ヶ國の國民は平均十ヶ年間で八ミリメートル四身長を増加し、日本人は十ヶ年間に一センチメートル、即ち一ヶ年平均一ミリメートルの増加を示してゐることが明らかとなつた。この統計で見るごとく、前記の歐州人は一ヶ年間に尺乃至四尺の生きた縞蛇十六匹、ヨーロッパ人の身長の差は全くなくなり、日本人と白色人との間の身長の差は全くなくなり、日本人も肉體的にひけめを感じなくなっているといふわけである。

沈没せる駆逐艦

日露戰争の初期にロシア東洋艦隊に屬せる駆逐艦ベトロフ

洋艦隊の金庫には數百萬圓の金塊と寶石類が保有されてゐるので大連地方の有志は沈没艦の所有者たる和歌山市と櫻井功氏に渡りをづけ依頼して引揚げ計畫を立て

沈没艦の名は片岡弓八氏に

沈没艦に渡りをづけた



小野次郎右衛門之卷(八)

「あつ」

三之助は思はず叫び聲をあげた。師匠次郎右衛門は板の間に倒れてゐたからである。

然しそく見ると斬られて倒れたのではないらしい。その周囲に倒れは白刃を振り冠つた例の浪人者

が五六人今にも斬らう身構えが五人。今にも斬らう身構えてゐる。次郎右衛門ともあるものが、倒れるとは不覺の話であるが、これは浪人の計略によつて、

板の間に油を敷いて滑べるやうにしてあつたからである。けれども余りにすばく次郎右衛門が躍り込んだので、彼等は用意し

トラホームには

【タカ點眼集】

ESCRIP. DE NAOJI ATSUMI
R. Ypiranga, 13-1°. 4 Caixa, 3794 S. Paulo

世界は我が
市場なり

農産物委託及機械器具
購入食糧品取扱等
聖市イビラソガ街
十三一階四號

財界仲立幹族直治
特に歓迎

厚味直治
【應無料御相談】



Y. Kinjô
Cirurgião Dentista
Cidade São Joaquim, 26
Esquina da Rua
Conde S. Joaquim
Telephone, 3384
São Paulo



金城山戸

市
シナマサ・サン
電話七一三三八四

歯科醫

大阪商船會社

代理店 Santos: HOULDER BROTHERS & CIA, LTD. Rua do Commercio, 35
代理店 S. Paulo: THEODOR WILLE & CIA. Rua Libero Badaró, 52



日本へ
新造客船

短縮

【命令定期毎月一回】

日本より

りおでじやれいろ丸

七月七日 サントス着

リオオーリオ

オーリオ

リオオーリオ

リオオーリオ